

東京・杉並水素ステーション見学・燃料電池自動車(FCV)体験会の実施について

記者各位

当社(社長:木村 康)は、8月24日(水)と27日(土)の2日間、東京・杉並水素ステーション(杉並区宮前一丁目)において、水素ステーション見学・燃料電池自動車(FCV)体験会を、水素供給・利用技術研究組合(理事長:吉田正寛、以下「HySUT(ハイサット)」)と共同で実施しましたのでお知らせいたします。

当水素ステーションは、HySUTが実施した「水素ハイウェイプロジェクト[※]」の一環として建設され、2010年12月より当社が運営をしているものです。現在は、2011年度より5年間の計画で、水素供給インフラの商用化を目指してHySUTが実施する「地域水素供給インフラ技術・社会実証」プロジェクト(NEDO事業)に参画しており、カーボンファイバーを使用した従来よりも安価な蓄圧器(水素を高圧で貯蓄するタンク)であるCFRP容器の導入・実証や、FCV普及期には高頻度で水素の充填が行われることを想定した圧縮機(蓄圧器に水素を高圧で送り込む装置)の耐久運転実証などを行う予定です。

本体験会は、当水素ステーションの近隣にお住まいの方々を対象に、2015年から一般ユーザーへの普及開始が予定されているFCVと、FCVに燃料となる水素ガスを供給する水素ステーションへの理解を深めていただくため、HySUTと共同で実施いたしました。

当水素ステーションとしては初めての開催でしたが、2日間で小中学生を含む89名の方々に参加いただき、参加者からは、「初めてFCVに乗ったが、静かでとても乗り心地がいい」「環境にやさしいクリーンな車なので、早く実用化してほしい」などの感想が聞かれました。

※水素ハイウェイプロジェクト:

首都圏に3か所の水素ステーションを配置し、燃料電池自動車・バスの定期運行実証を行うプロジェクトで、HySUTが経済産業省の「水素利用社会システム構築実証事業」の支援において実施したものです。プロジェクトの実証期間は終了しておりますが、燃料電池自動車・バスの運行は継続しており、現在進めている実証事業においても、このときに導入された設備が活用されています。

記

1. 「東京・杉並水素ステーション見学・FCV体験会」の概要

- (1)開催日時 : 2011年8月24日(水)、27日(土) 10:30~15:30
 (2)場 所 : 東京・杉並水素ステーション(所在地:東京都杉並区宮前1丁目17-10)
 (3)参加者 : 89名
 (4)内 容 : ①水素ステーションの見学会
 (FCVへの水素充填実演等)
 ②FCVへの試乗体験(同乗)

2. 東京・杉並水素ステーションの概要

運営	JX日鉱日石エネルギー株式会社	蓄ガス設備	内容積	300L×12本
所在地	東京都杉並区宮前1-17-10		圧力	40MPa
水素供給方式	水素カードル供給によるオフサイト型	充填圧力		35MPa
主要構成機器	水素受け入れユニット、圧縮機、蓄圧器、ディスペンサー	圧縮設備	能力	50Nm ³ /hr
			圧力	40MPa

以上



東京・杉並水素ステーション外観



FCVへの水素充填実演



FCVへの試乗体験



水素輸送用カードの見学

● 別添資料

-  [「水素供給・利用技術研究組合 \(HySUT\)」の概要 \(PDF:73.6 KB/1ページ\)](#)
-  [JX日鉱日石エネルギーにおける燃料電池・水素エネルギー関連の取り組み \(PDF:111.8 KB/1ページ\)](#)

-  [このニュースリリースを PDFで見る \(PDF:452.0 KB/4ページ\)](#)